

# 令和5年度教育指導の重点及び学校経営計画

学校番号	学 校 名
7	岐阜総合学園高等学校

学校教育目標	自ら学び続ける意欲と態度を養い、知・徳・体の調和のとれた心豊かな人間を育成する。 1 主体性を重んじ個性を伸ばす総合学科の特色を生かし、自らの可能性を引き出す力を育てる。 2 自己を正しく理解し、自己実現を図るための、人生設計力を育てる。 3 実践的活動を通して、自主性・創造性を養い、健康な心身を育てる。 4 社会の一員としての役割と責任を自覚し、他を思いやる友愛の心を伸ばし、たくましく生きる力を育てる。		
スクール・ポリシー	『育てたい生徒像』 グラデュエーション・ポリシー（GP）	『生徒をどう育てるか』 カリキュラム・ポリシー（CP）	『どんな生徒を待っているか』 アドミッション・ポリシー（AP）
	<ul style="list-style-type: none"> <li>主体性をもって課題解決に取り組み、自らの可能性を引き出す生徒。</li> <li>自己を正しく理解し、自己実現を図るための人生設計力を身に付けた生徒。</li> <li>実践活動を通し、自主性と創造性、健康な心身を兼ね備えた生徒。</li> <li>他人を思いやる友愛の心を持ち、社会で生きる力を持った生徒。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒一人一人の特性に応じた学力の伸長を図り、深い学びを実現するため、カリキュラム編成と、ICTなどを活用した創意工夫の授業展開。</li> <li>総合学科における専門教育とキャリア教育を通して「主体性・思考力・協働性」を養う授業の実施。</li> <li>「凜として美しく」をモットーに、学校生活の充実を図ると同時に、個々の進路実現に合わせた教育活動の実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>向上心を持ち、どのようなことに対しても主体的に学ぶ姿勢がある生徒。</li> <li>自ら様々な課題を発見・分析でき、適切な計画を立ててその課題に取り組める生徒。</li> <li>他者の考えや立場を理解し、相手の意見を聴いて自分の考えを正確に伝えることができる生徒。</li> <li>他者と協力しながら、社会に貢献しようとする思いがある生徒。</li> </ul>
教育指導の重点 (今年度の具体的な重点目標)	重点目標の達成に必要な具体的取組、方策		達成度の判断、判定基準あるいは評価指標
1 生涯にわたって自ら学び続けられる力を身に付ける。	①「充実した授業」「規律ある学校生活」を指導の基本におき、毎日の授業や部活動指導を通して、調和のとれた生徒の育成を図る。 ②相互参観授業、生徒による授業評価、研究授業・授業研究会、のICTを活用した授業勉強会等を通して、授業改善及び教科指導力の向上を図る。 ③授業・部活動・生徒会活動等での言語活動を通して、コミュニケーション能力を育成する。		①授業態度や資格取得・コンテスト、部活動の参加状況とその成果。 ②生徒による授業アンケートの結果。 ③授業等の諸活動で自分考えや意見を立場の異なる相手にうまく伝えられるか。 【重点数値目標】 生徒による授業アンケートで、肯定的意見8割以上。
2 社会や世界と良い関係を結びながら人生設計ができる力を身に付ける。	①活用型基礎学習 主体性とリテラシーの基礎を身に付けるため、必要な知識や収集した情報を使って、活用する術について学習する。「産業社会と人間」と「総合的な探究の時間」の自己理解フィールド・教科授業で実施する。 ②探究型応用学習 読み書きの基礎を育成するため、課題を発見する力、課題解決に向けて考え抜く力を身に付ける。主に「産業社会と人間」と「総合的な探究の時間」の職業・社会理解フィールド・教科授業で実施する。 ③シミュレーション型体験学習 コンピテンシーを育成するため、グループ活動から、自己の役割を認識し主体的な社会参画と多様な人との協働、集団の規律について、その必要性を体得するために繰り返し経験できるよう、主に「産業社会と人間」・「総合的な探究の時間」・系列専門教科の実習授業で実施する。 ④実践型総合学習 リテラシーとコンピテンシーを実践の場で試すため、主に「産業社会と人間」の職業インタビューとライフプラン作成、「総合的な探究の時間」の、系列専門教科の実習授業、系列による職場体験やボランティア活動で実施する。		①学びのPDCAサイクルの構築のために、「スタディーサポート」、「スタディサプリ」を利用し学力推移及び学習習慣の変化変容について数値化して評価する。 ②課題完成物及び能力診断テストについてICERूपリットクを使ったコンピュータ診断による非認知能力の絶対評価を行う。 ③非認知能力の変化について「到達度テスト」と能力診断テストの結果を連動させ、その相関関係からキャリア発達について検証する。 ④1・3年次のみ評価してキャリア開発力の変化を検証する。 【重点数値目標】 就職内定率100%を維持。 進学者の第一志望校合格率85%以上を目指す。 高卒・進学後就職者離職率1年以内10%未満を目標とする。
3 「安全・安心な学校づくりと心の教育」を推進する。	①集会やホームルーム活動等のあらゆる機会に、遅刻や欠席数の削減・交通事故防止・危機管理の自覚を促す。生活委員会・交通安全委員会を充実させ、生徒からの啓発によるマナーの向上を目指す。 ②様々な講演や講話により、人間性および社会性の育成に努める。 ③全校一斉点検や校門付近において交通安全指導を実施する。 ④生徒一人一人をより深く理解するために職員間で情報共有をする。 ⑤生徒の教育相談にきめ細やかに対応し、粘り強く支援する。		①交通事故件数・交通マナー違反の発生状況。 ②盗難・いじめ・いたずら等の問題行動の発生状況。 ③一斉点検の検査結果と再点検の状況。 ④職員朝会および職員会議において、生徒の情報を共有する。 ⑤生徒のわずかな変化に気づき早期に対応する。 【重点数値目標】 遅刻者数延べ700名以下。 欠席者数延べ2000名以下。交通事故件数20件以下